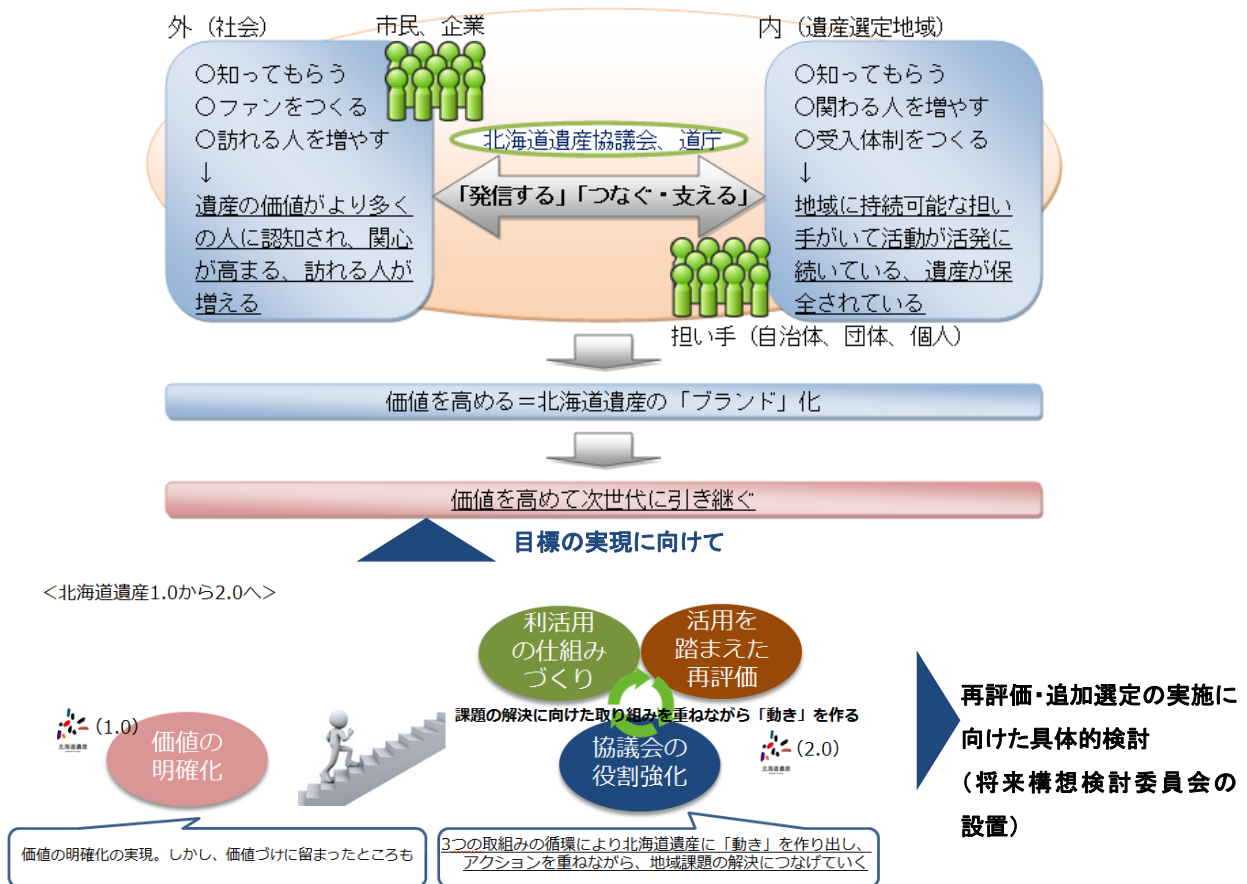


平成27年度 NPO 法人北海道遺産協議会事業計画（案）

<基本的な考え方>



- 平成25年度に「北海道遺産満足度向上プロジェクトチーム」を立ち上げ、北海道遺産の持続的な保全・活用に向けた現状と課題の整理、遺産の再評価の必要性について検討を行った。平成26年度には、「検討部会」を設置し、北海道遺産の再評価の方向性について議論を開始した。平成27年度は「検討委員会」を設置し、具体的な議論を加速する。

○北海道遺産の将来構想についての具体的検討

「検討部会」メンバーを中心とした「(仮称)北海道遺産将来構想検討委員会」を立ち上げ、現地視察等を行いながら追加選定等を含めた北海道遺産構想の将来的な展開について具体的な検討を行う。

○「ほっかいどう遺産 WAON」「お茶で北海道を美しくキャンペーン」寄付金の効果的な活用

- 「ほっかいどう遺産 WAON」(イオン北海道様、マックスバリュ北海道様、ダイエー様)、「お茶で北海道を美しくキャンペーン」(伊藤園様)による地域の取組みを進めるための貴重な財政的支援が継続しており、地域への支援を確実に実施するとともに、北海道遺産全体のPRにつなげる。

○地域との関係強化

- 上記助成に関して、各社との連携事業の実施、あるいはスタッフの皆さんによる地域活動の実施等、金銭的な支援に留まらない関係づくりを進め、より効果的な地域における北海道遺産の保全・活用を進める。

<平成 27 年度事業>

(1) 普及啓発活動事業

◆「北海道遺産公式サイトのリニューアル」

「ほっかいどう遺産 WAON」「お茶で北海道を美しくキャンペーン」によりこれまで助成を受けた地域の取組みを紹介する特設ページを設ける。また、同時に現在の公式サイト全体の見直しを行い、より親しみやすい、見る人にとって有益なサイトを作成する。海外向けのページ作成についても検討する。

○1,500 千円

◆「北海道遺産情報発信アプリの更新」

昨年度作成・公開した北海道遺産情報発信アプリについて、スタンプ帳等の機能を追加し、各地域へ足を運んでもらえるよう、内容の充実を図る。

○1,000 千円

◆「Web 等での情報発信と管理運営」(通年)

各地の北海道遺産をはじめとする地域遺産に関連する情報を、ホームページ、アプリ、twitter、Facebook などを活用して、幅広く、タイムリーに発信する。

※上記サイトリニューアルに含む

◆「会員サービスの強化」(随時)

会員の地域、個人に対するサービス強化の一環として、選定証以外に北海道遺産であることを示すプレート、ピンバッジ、ポストカード等を作成し、PR を拡大する。

○1,000 千円



選定証 (左) とプレートのイメージ (中央、右)

◆「その他会員サービス・PR」(随時)

平成 21 年度から手づくりのニュースレター「北海道遺産だより」を発行 (年 3 回)。内容としては、協議会の活動情報、地域の行事情報など。正会員・賛助会員・関係者等に送付する。また、道庁赤れんが 2 階の紹介コーナーのリニューアル、雑誌・イベント出店等による PR を行う。

○2,500 千円

(2) 地域活動促進支援事業

◆「北海道遺産地域活動支援」(6月～)

「ほっかいどう遺産 WAON」の寄付金により、北海道遺産所在地域における遺産保全・活用事業を募集し、計 20 件程度(総額 600 万円程度)の活動に対する助成を行う。7 月を目途に寄付金贈呈式、11 月を目途に北海道遺産サミット(旧:交流会議)を開催し、各地域の活動報告、各社への感謝状贈呈を行う。

○8,500 千円

◆「北海道遺産サミットの開催」(11月頃)

北海道遺産選定地域、正会員、賛助会員、他関係者にご参加いただき、ご寄付をいただいている各社への感謝状贈呈および、地域資源利活用の現状と課題や今後の展望、事業化の検討と課題などについて、講演会や意見交換等を行う。また、年度ごとに優れた地域活動を表彰する「北海道遺産アワード」についても具体的な実施方法等を検討し、会議の中で表彰式を行うことを検討する。

※上記地域活動支援に含む

◆「検討委員会の開催」(7月～)

「検討部会」メンバーを中心とした「北海道遺産将来構想検討委員会」を立ち上げ、現地視察等を行いながら追加選定等を含めた北海道遺産構想の将来的な展開についての具体的な検討を行う。

○1,500 千円

(3) 保全活用推進事業(ほっかいどうムラの宝物さがしプロジェクト)

北海道遺産構想の趣旨を全道に普及する取り組みとして、平成 19 年度より応募を開始した「ほっかいどうムラの宝物プロジェクト」では、各地のムラの宝物をデータベースに登録し、公式ホームページで公開している。本データベースは、所在地エリア・ジャンル・キーワード・フリーワードで検索をかけられ、各データの詳細を見られる構成としている。

◇現在の登録数

・257 件(平成 26 年 5 月現在)

◇今年度の活動

・北海道遺産全体の将来構想の検討に伴い、実行委員会は開催せず、ウェブ管理・更新のみ実施

○50 千円

※(1)～(3) ほっかいどう遺産 WAON 寄付事業

(4) その他事業について

■会員募集について

<会員拡大の具体的なアクション>

◇北海道遺産選定地域の正会員加入のお願い

遺産選定地域とより強い連携をもち、北海道遺産構想を推進するため、正会員もしくは賛助会員として入会をお願いする。

◇公共施設等へのパンフレット設置

市町村役場、会員企業の施設、道庁赤レンガ、食と観光の情報館、等へパンフレットを送付、設置を依頼する。

◇イベント等でのパンフレット配布

北海道遺産関連のイベント等でパンフレットを配布する。

■正会員・賛助会員一覧（平成 27 年 6 月 15 日現在）

◇市町村（16 会員）

石狩市（新規） / 小清水町 / 弟子屈町 / 松前町 / 中標津町 / 帯広市
遠軽町 / 別海町 / 京極町 / ニセコ町 / 上士幌町 / 倶知安町
増毛町 / 足寄町 / 浜中町 / 黒松内町

◇団体・協会（16 会員）

NPO 法人天塩川を清流にする会（新規） / 第 746 なよろ煮込みジンギス艦隊（新規）
石狩川下覧権（新規） / NPO 法人炭鉱の記憶推進事業団 / 北海道土地改良区
昭和新山国際雪合戦実行委員会 / 認定NPO法人霧多布湿原ナショナルトラスト
音更町十勝川温泉観光協会 / NPO 法人ひがし大雪アーチ橋友の会
公益社団法人北海道アイヌ協会 / NPO 法人ピアソン会 / 北海道和種馬保存協会
公益社団法人北海道観光振興機構 / ジンギスカン食普及拡大促進協議会
公益財団法人草野河畔林トラスト財団 / 北海道農業協同組合中央会

◇企業・その他（8 会員）

(株)シービーツアーズ / サッポロビール博物館 / 医療法人社団宮崎整形外科医院
株式会社ファウンド / 雪印メグミルク酪農と乳の歴史館 / 北海道中央バス株式会社
川崎近海汽船株式会社 北海道支社 / 日本中央競馬会 札幌競馬場

◇役員・個人（25 会員）